

東北電力総合研修センターを訪問して

職業能力開発総合大学校 川上 善嗣

1. はじめに

今回訪問する企業は、福島県原町市にある東北電力総合研修センターです。原町市は阿武隈高地の裾野に広がり、一千年以上の歴史を誇る相馬野馬追で知られる伝統と穏やかな海岸性気候、さらに豊かな自然が特徴のまちです。この原町市の太平洋に面した海岸段丘の上に東北電力総合研修センターがあります。

2. 施設概要

はじめに東北電力総合研修センターの施設概要について、白井技術研修課長より説明をいただきました。東北電力総合研修センターは東北電力のすべての教育研修を行う人材育成の拠点として設立され、社員の専門性、総合的マネジメント力を高めるとともに、自己革新をはかり、業務の改革を主体的に実行する自立行動型人材を育成することを目的としています。

設立は平成2年に総合技術訓練センターとして発足し、その後既存の研修部門と統合され、平成12年に総合研修センターとなり現在に至っています。

また施設には一般研修室のほか各種シミュレータ室および図1に示すような広大な敷地を利用した送電、配電、変電などの実技研修を行う屋外設備が整っています。さらに快適な研修生活を送るための宿泊設備が完備されています。



図1 東北電力総合研修センター

3. 研修内容

3.1 概要説明

東北電力総合研修センターで実施している研修の内容と人材育成の考え方について森下研修センター長より説明がありました。研修センターの利用者は毎年3,000人を超え、なかでもチャレンジャーズ・カレッジと呼ばれるシステムの導入によって意欲のある受講者が多数参加しているとの報告がありました。

3.2 研修内容

研修は一般研修と専門部研修、技術研修の3つに大別され、以下のような目的で行われています。

① 一般研修

新入社員教育や新任管理職研修等の階層別研修、マネジメント研修および自主参加型のエントリー研修（チャレンジャーズ・カレッジ）等が行われています。チャレンジャーズ・カレッジは平成9

年に導入され、それまでの自主参加型研修を見直して、参加者が休暇を使用し、かつ費用の一部を負担して参加することによって、より主体的な受講への動機づけが図られる仕組みとなっていることが特徴です。

② 専門部研修

技術系社員を対象として、実務経験者の再教育による高度なレベル確保を目指して基礎的な理論と実務への応用を結びつけた教育が実施されています。

この研修は社員の中から選考により、1年間にわたり専門性を高める総合教育が実施され、基礎学科、専門学科、一般学科に分かれた研修が行われ、高度な技術系社員の育成が行われています。

③ 技術研修

技術系社員を対象に、新技術の習得や実際の機器を使用した通常の運転操作や日常では経験することのできない事故時の対応等、高度でより実践的な訓練が実施されています。技術研修はシミュレータ研修（火力運転訓練、系統保護リレー、配電自動化、情報通信システム等）と実技研修（送電、配電、変電、水力発電、土木健全度診断等）に大別され、研修の中心となっています。

3.3 東北電力の人材育成の考え方

東北電力では人材開発を経営課題の1つとしてとらえ、「長期人材育成計画」を策定して、人材育成を行っています。東北電力における人材の全体イメージとして「社会の変化に先見のかつ柔軟に対応していくために必要な専門性と複合性を兼ね備えた『T型人間』」を掲げ、これに伴う教育は「本人の主体性に基づく『求める教育』」が重要であり、その具体的な人材育成施策として、『自己啓発』、『OJT』、『OFF-JT』の3つの柱を展開していました。

さらにこれからの厳しい競争環境のもとでは、「知識・技能（技術）を積極的に習得し、専門性およびマネジメント力を高める等の自己革新をはかり、業務の改革を主体的に実行する人材」の育成が重要で

あることを認識し、これからの人材育成の柱を「管理職の育成強化、特に『戦略的なマネジメントスキル』と『育成支援型管理スキル』の強化」および「主体的能力開発の支援強化として『能力開発マップの提示』や『チャレンジャーズ・カレッジの導入』」等の施策を展開していました。

4. 研修センターの見学

研修センターの見学は一般研修と技術研修を見学しました。一般研修では管理職を対象とした研修が行われており、図2に示すように活発な意見が飛び交っていました。

次に各種系統操作シミュレーションを見学しました。図3に示す電力系操作訓練シミュレーションでは実機と同様の環境のもとで

- (1) 電力系統特性および系統運用技術全般の習得
- (2) 給電指令、系統操作のルール習熟
- (3) 緊迫した状況下での沈着冷静な判断力の醸成と迅速確実な行動
- (4) 単独訓練とチーム訓練、チームワークの強化を目的として実施されており、特に重大事故などの緊急事態発生時に運転員の沈着・冷静な対応能力の向上を図ることに主眼がおかれていました。

また図4に示す火力運転訓練シミュレータでは発電所形式に対応したシミュレータを用いて、日常時の安定運転に加えて、設備異常時や雷、風雪等の自然災害による系統異常時においても高度な技能・技術力と適切な判断力、加えて緊密なチームワークの向上を目的として研修が実施されていました。



図2 一般研修



図3 電力系操作訓練シミュレーション研修



図4 火力運転訓練シミュレータ研修

5. おわりに

電力供給はわれわれの生活における重要なライフラインであり、その安定供給と信頼性を確保するための研修内容は安定運転技術に加えて、異常時の冷静・沈着な対応とチームワークが重要になります。東北電力総合研修センターではこのような状況下での危機管理能力の向上に主眼が置かれていることが特徴でした。

今後もより高度で実践的な研修が実施されることにより、これからの新しい問題である地球環境問題やエネルギーセキュリティにも配慮した信頼性の高い電力供給を期待します。

最後にお忙しいなか、本取材に当たり多大なるご協力をいただきました東北電力総合研修センター森下所長、白井技術研修課長ならびに福島県立浜高等技術専門校 渡辺先生に厚く御礼申し上げます。

職業訓練用教科書 改定発行のご案内

職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター編／厚生労働省認定

■2005年3月発刊

配管実技教科書 A 4判・180ページ／定価 1,890円

塗装実技教科書 A 4判・148ページ／定価 1,575円

塑性加工実技教科書 A 4判・152ページ／定価 1,680円

■2006年3月改定発刊

NC工作概論 B 5判・112ページ／定価 1,050円

NC工作機械 [1] NC旋盤 B 5判・162ページ／定価 1,785円

NC工作機械 [2] マシニングセンタ B 5判・146ページ／定価 1,680円

■今後の改定予定

溶接実技教科書／木工用機械／塗料及び試験法 (従来の「塗料」と「塗装試験法」を統合)

自動車整備実技教科書／機械加工実技教科書／木工製品設計

■発行所

社団法人 雇用問題研究会 <http://www.koyoerc.or.jp>

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-14 電話 03-3523-5181 (代表) FAX 03-3523-5187

